

Title	彙報
Author(s)	
Citation	經濟論叢 (1940), 50(3): 400-402
Issue Date	1940-03
URL	http://hdl.handle.net/2433/131356
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

會學濟經學大國帝都京

叢論經濟

號三第卷十五第

月三年五十和昭

論叢

勢力加速度の法則……………文學博士 高田 保馬

日本經濟理論に於ける主體性の發展……………經濟學博士 石川 興二

時論

地方稅制の改革を論ず……………經濟學博士 汐見 三郎

研究

ナチス住宅政策の原理……………經濟學士 中川 與之助

金史食貨志に見はれたる貨幣思想……………經濟學士 穗積 文雄

貨幣の資本的考察……………經濟學士 中谷 實

說苑

北支に於ける人口の分布と變動……………經濟學士 菊田 太郎

農業に於ける保險と信用の問題……………經濟學士 西藤 雅夫

パウル・アルント 日本に於ける低勞賃……………經濟學士 青山 秀夫

附錄

彙報

外國雜誌論題

○助教松岡孝兒氏は昭和十五年一月三十日付を以て教授に任ぜらる。

○講師白杉庄一郎、講師青山秀夫の兩氏は昭和十五年一月三十日付を以て助教授に任ぜらる。

○昭和十五年度授業擔任 内定せしもの左の如し。

經濟原論 高田 教授
統計學 財部 教授

農業經濟學 八木 教授
國際經濟論 松岡 教授

金融論 小島教授
交通論 小島教授

社會政策 石川 教授
植民政策 八木 教授

財政學
沙見教授
東亞經濟政策
谷口教授

廣益金地廟 惠火力女受 西牢經解已 組工力女受

東亞金剛山	衡方良牽挽	西洋船渡史	城江良牽挽
-------	-------	-------	-------

日本經濟史 本庄 敦教授
東亞經濟思想 穗積助教授

日本經濟思想
本庄教授
東亞資源論
蜷川教授

聖
齊也
聖
黑王
女受
日本
聖齊行
石川
女受

[illegible][illegible]

憲 注 大 西 貝 奉 抄 目 注 解 見 田 島 孝 拔

民治物格不用委授
民治親族村鄉近處委授

2) 歐羅巴重商主義の勞賃政策の unsozial な性質を明かにしたことは、E. S. Furniss, *The position of the laborer in a system of nationalism*, Boston 1920. の功績である。

商法總則會社 大橋助教授

商法商行爲手 大森助教授
形小切手法

商法保險海商 大隅 教授

刑 法 佐伯助教授

國際公法 田畑助教授

政 治 學 黒田 教授

哲學概論 田邊 教授

經濟演習

財部教授、本庄教授、高田教授、小島教授、汐見教授、石川

教授、谷口教授、八木教授、蟠川教授、柴田教授、松岡教授

中川助教授、大塚助教授、堀江助教授、穂積助教授、徳永助

教授

特別講義

人口統計 財部 教授

貿易統制論 谷口 教授

日本統制經濟 柴田 教授

計畫經濟論 柴田 教授

經濟學會

一月例會 一月二十五日午後六時より樂友會館に於て開催當
日の報告次の如し。

一 支那の經濟性格に關する一考察 穂積助教授

支那經濟の性格を半封建性、半植民地性に於て把握すること
は今日殆ど通説の觀があるが、その意義は未だ必ずしも明確で
はないので、それを明確にせむとして、先づ封建制の本質を闡
明し、封建性の本質より封建性の概念を規定し、封建性の概念
より更に半封建性の概念を導き出し、半封建性の概念に該當す
るものが支那經濟に存在することを立證し、そしてそれが支那

經濟を他の經濟より區別する大きな役割を果す所以を論證し、
次に同様に植民地の本質より植民地性の概念とそれより更に半
植民地性の概念を引き出し、それに該當するものが支那經濟に
存在することを立證し、それが支那經濟を特質づける所以を論
證し、最後に半封建性と半植民地性との關係並に半封建性、半
植民地性とそのカウンターパートたる半資本主義性、半自主性
との關係に及ぶ。

二 支那土着銀行

鈴木總一郎氏

從來の金融研究方法を批判して、現象的取扱を排撃し、報告
者の持論たる具體的・綜合的研究方法を述べて、その立場より
支那金融機構の解明を試み、その企圖の第一着手として支那土
着銀行、就中山西票莊に關して報告した。先づ票莊の成立より
初めて組織及び經營方法を概説し、票莊が支那社會自體より自
立的に發生したる成立原因よりして、特に支那社會一般との關
聯を追究し、機構的特質として非合理的なるものを把え、これ
はやがて土着銀行といはれるものゝ一般的特質であると斷定し
た。これと共に當時の專制的官僚國家の性格を分析して、それ
との具體的關聯に於て、山西票莊の特徵を把え來り、官僚との
相互利益的結合に於てこれを認めた。かくして、一方に於て、
票莊の歴史的・具體的特徴を見ると共に、他方に於て支那固有
金融機關一般としての特質を究明して、綜合的研究の端緒的試
みとしての報告を終つた。

出席者―石川・谷口・大塚・堀江・中谷・穂積・白杉・青山・出口の

彙報

諸先生、菊田・青盛・前田・山本・馬場・山崎・鈴木・堀江（英）の諸氏。

○會員勸解

第五十卷 四〇二 第三號 一二六